

みんなの町議会



目次

- 6月定例会の経過 2~3
- 常任委員会の焦点 4~5
- 一般質問に7名登壇 6~13
- あれ なんと なった べが！ 14
- 陳情・議員研修報告 15
- がんばって ます・楽しんで ます 16

No.131

2017年7月1日

子どもが見守る中行われた
消防救助訓練

五城目小学校建設地 雀館運動公園内に決まる

議会の経過

6月定例会は6月12日から16日までの5日間の日程で開かれた。

初日、渡邊町長は行政報告で「五城目小学校建設について町民や保護者の意見・要望などを検討し、総合的に判断した結果、雀館運動公園内に小学校を建設し『町民みんなで子どもたちを見守り育てる学校』とすることが最良であるという考えに至った」と述べた。

2日目3日目の一般質問には7名が登壇。街路樹管理、安心安全対策、企業誘致対策、クマ被害防止策、小学校改築事業、豪雨被害対策、教育の充実策などの質問をした。

一般質問後、「平成29年度一般会計補正予算・特別会計補正予算案、休養センター恋地山荘設置条例を廃止する条例」など13件の議案が提出された。

各常任委員会で審査を行い、最終日は常任委員長報告をし、全議案を可決した。また陳情2件を採択、小学校建設に関わる陳情2件を不採択、委員会提出議案2件を可決、農業委員の任命につき同意を求める議案13件を可決し閉会した。



補正予算の主なもの

- 五城目小学校改築事業調査費 3,648万円
- 地域公共交通対策事業費 200万円
- 林道補修事業費 77万円
- 地域活性化支援センター修繕料 44万円
- 補正予算総額 5,443万円
- 一般会計累計 51億9,143万円

農業委員会委員の 任命に同意

一関 勇一 (男・65歳) 久保・認定農業者	伊藤さくら (女・41歳) 高田・認定農業者	伊藤 春美 (女・53歳) 町村・非認定	草皆 健市 (男・64歳) 帝釈寺・認定農業者	小玉 正行 (男・64歳) 中村・非認定	小玉 俊雄 (男・68歳) 北々口・認定農業者	佐川 誠 (男・59歳) 野田・認定農業者	佐藤 市夫 (男・61歳) 谷地中・認定農業者	澤田石栄一 (男・67歳) 湯ノ又・認定農業者	竹内 治子 (女・45歳) 恋地・中立	館岡 晃 (男・59歳) 高崎・認定農業者	松橋 勝 (男・68歳) 浅見内・認定農業者	八柳 三郎 (男・72歳) 大川・非認定
---------------------------	---------------------------	-------------------------	----------------------------	-------------------------	----------------------------	--------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------	--------------------------	---------------------------	-------------------------

(佐藤 慶彦)



ようやく決まった建設地

テニスコート跡地周辺へ

教育民生常任委員会で審査され、全会一致で可決すべきものとされた一般会計補正予算案の五城目小学校改築事業に係る関係部分について本会議において反対意見があり、討論を行い採決の結果、賛成多数で可決した。

反対の討論

千田 峯夫 議員

子どもが減っていく中、財政が厳しい中で議論が尽くされてなく、再考すべきである。

賛成の討論

石川 交三 議員

建設地について、またまた変更するようなことはあってはならず、いたずらに混乱させるような事態は避けるべきである。町民と町が響き合う努力を当局は重ねてきており、町民の声を集約しての総合的な判断である。

予算案に賛成の議員

- 荒川 滋・椎名 志保
- 佐藤 慶彦・斎藤 晋
- 佐々木仁茂・伊藤 正春
- 佐藤 重信・館岡 隆
- 荒川 正己・石川 交三

予算案に反対の議員

- 畑澤 洋子・石井 光雅
- 千田 峯夫

総務産業常任委員会でも審査され、全会一致で可決すべきものとされた五城目町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定案に本会議において反対意見があり採決の結果、賛成多数で可決した。

制定案に反対の討論

石川 交三 議員

国保の構造上の問題で町長に責任があるわけではないことは理解しているが、担税力を超えて「過酷な税」になっている国保税の低所得者層への更なる負担増に賛成はできない。

制定案に賛成の議員

- 荒川 滋・佐藤 慶彦
- 佐々木仁茂・畑澤 洋子
- 石井 光雅・伊藤 正春
- 佐藤 重信・館岡 隆
- 千田 峯夫・荒川 正己

制定案に反対の議員

- 椎名 志保・斎藤 晋
- 石川 交三

教育民生常任委員会で審査され、多数により不採択すべきものとされた「五城目小学校建設を五城目第一中学校敷地内等に建設を求める」陳情について本会議で採決した結果、多数により不採択とした。

陳情不採択に反対の議員

- 畑澤 洋子・石井 光雅
- 千田 峯夫

陳情不採択に賛成の議員

- 荒川 滋・椎名 志保
- 佐藤 慶彦・斎藤 晋
- 佐々木仁茂・伊藤 正春
- 佐藤 重信・館岡 隆
- 荒川 正己・石川 交三

教育民生常任委員会で審査され、多数により不採択すべきものとされた「五城目小学校建設を雀館運動公園内第3駐車場が最適地とする」陳情について本会議で採決した結果、全会一致で不採択とした。

(佐藤 慶彦)

地域公共交通 空白解消に向け検討



交通空白の解消を

こんなことを審議しました

総務産業 常任委員会

町では、町内の地域公共交通の再編につながる新たな交通サービスの導入を考えている。

空白地帯となっている馬川地区（岩野・岩城町）と大川地区（西野・石崎・谷地中・曙町・下樋口）の交通不便の解消、中心市街地における循環型コミュニティバスの導入事業実施に向けて来年度、実証実験を行えるよう、調査検討を関係機関との事前調整も行うことになり、業務処理などの委託料200万円を計上した。

恋地山荘解体



姿を消す恋地山荘

昭和57年に完成し、恋地スキー場のロッジとして親しまれた恋地山荘は、スキー場の休業に合わせ、平成17年4月から休業中である。6月30日に当該条例を廃止し正式にその役目を終えた。
今後、8月中旬に入札し11月末の工期で解体工事にとりかかる。現在、施設内に保管している動産は所有者と話し合い、解体前に他の場所に移動することになっている。

3団体にコミュニティ助成

コミュニティ事業補助金とは、宝くじの社会貢献広報事業として、活力ある地域づくりなどに対して助成を行うものであり、一般が上山内町内会と西磯ノ目町内会に、地域防災組織育成事業は湯ノ又防災会に決まった。

太鼓、テント、テーブル、イス、ストロープ、物置、発電機、投光器などを購入する。

総額は3件で610万円。



備品が充実する上山内町内会

(荒川 滋)

五城目小学校建設に向けた 予算案を可決

教育民生 常任委員会

調査設計等委託料内訳 (千円)

① 用地測量業務委託料	1,788
② 建物配置検討業務委託料	1,512
③ 基本設計業務委託料	20,419
④ 地質調査業務委託料	12,668
合計	36,388

小学校改築事業に関わる調査設計等委託料の予算案が可決された。

今後は配置計画や測量、地質調査を行い、グラウンドのサイズや階層の検討などをしていくことになる。

町長の行政報告で、町民の意見や要望などを検討し総合的に判断した結果、雀館運動公園内に建設するのが最良であるとの考えに至った、と説明があった。

委員からは「当初中学校隣接地と説明していた時点では、町民の意見を集約検討する努力が不足していたのではないか」「今後、地区ごとの座談会を開き、住民が納得する説明をすべきである」との意見が出された。

町は、学校・家庭・地域が連携して教育活動に取り組み、多くの町民が小学生の徒歩通学を見守ることで安全面の確保が出来るとし、『町民みんなで子どもたちを見守り育てる学校』を目指している。

子育て支援センター 「こどもの木」8月開設予定



基礎工事が進むもりやまこども園前庭

もりやまこども園で月1、2回開かれ、入園前の子育ての手助けとなっていた「わんぱく」が、より充実したものに生まれ変わる。

名称を「こどもの木」とし、毎日利用できることになった。

保健師や看護師、栄養士による専門的な観点から様々な相談への対応、子育てサークルやボランティアの育成など、子育てに対する支援の強化や事業の拡充に努める。

8月の開設を予定しており、町の子育て支援の中核的施設として多くの期待が寄せられている。

(椎名 志保)

消防本部が 緊急消防援助隊に登録

町消防本部が4月1日付けで、緊急消防援助隊消火小隊に登録された。

県内13消防本部85隊が登録されており、今後他県で大規模災害が発生した際、要請に応じ出動することになる。消防作業のみならず、人命検索活動も行う。

県内外での災害への支援体制が、ようやく整ったことになる。



活躍が期待される消防本部

一般質問

7議員が登壇 ただ 26項目を質す

一般質問とは？

一般質問は、年4回(3、6、9、12月)の町議会定例会において行われます。
議案とは関係なく、町政全般にわたって議員主導による政策論議であり、通告性が採用されています。
一般質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。
*五城目町議会では、質問者1人につき持ち時間は60分(質問・答弁含む)となっています。

質問者

齋藤 晋 議員

- 街路樹管理と施設管理責任について
- 除雪作業による物損事故について
- 雀館公園の管理と今後について
- 町のふるさと納税の今後について

畑澤 洋子 議員

- 教育行政の長期的展望は
- 国土強靱化地域計画策定の早期着手で安心安全対策を
- 「ベンチ」の設置で住みよいまちづくりを
- 農産物GAP認証取得の状況は

石井 光雅 議員

- 四期目の町長に問う
- 教育行政について

石川 交三 議員

- 学習指導要領の評価と道徳の教科化、教育勅語について
- 国民健康保険税の税率改正について
- 地方公務員の任用方法を再整理する地方公務員法改正について
- クマ被害防止策はなにか

荒川 滋 議員

- 進む公衆電話廃止への対応
- 人口減少により町内会集会所、会館維持費の一部補助を
- 学校授業以外の子どもたちの居場所について
- 五城目小学校改築事業について

椎名 志保 議員

- 五城目小学校改築事業について
- 豪雨による被害の防止策について
- イベント、各行事のあり方について
- 男女共同参画の推進について

佐藤 慶彦 議員

- まちづくりについて
- 教育の充実策について
- 悠紀の国五城目の設置条例について
- 受動喫煙防止と分煙対策について

*誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

一般質問

除雪業者から物損事故の報告は何件あったか

町長 除雪業者からの報告は、1件もない



斎藤 晋

除雪による物損事故は何件ある

斎藤 雪で見えないため、除雪作業による物損事故はあるのが当然である。町で把握している物損事故について過去5年間の発生状況は。

町長 除雪業者からの報告は1件もないが、平成24年度17件・25年度6件・26年度7件・27年度3件・28年度14件の被害報告があった。

斎藤 道路標識などの物損事故が発生し過失者が分からない場合の復旧はどうする。
町長 過失者がどうしても分からない場合、警察に届けるほか、町で予算化し復旧している。

樹の管理責任は、町なのか

斎藤 樹通り（県道秋田八郎潟線）歩道の樹の管理者は町なのか、また、施設管理責任は町なのか。

町長 樹通り歩道の樹の管理は町である。事故が発生した場合町が賠償責任を負う。

斎藤 樹の管理指針は、また、剪定などの管理の頻度はどのくらいか。

町長 街路樹管理保全業務は、4月中に入札、5月上旬に契約、翌年3月までの契約期間となる。契約仕様書で、車道剪定高は4・5m、歩道剪定高は2・5mと定めている。



雨の日はけやきの枝がもっと垂れ下がる

斎藤 樹の枝・根などに起因する事故により施設管理責任を問われると思うが、今後の樹の管理はどのようにするか。

町長 街路樹には静かな街並みとしての景観形成・騒音の低減・歩車道分離での安全確保などさまざまな効果がある。しかし、落ち葉の処理・枝の剪定・根の除根などの維持管理費も考慮しなければならぬ。

街路樹に対して様々な意見があることは把握している。しかし、街路樹に対する考え方・意見が集約されておらず、今後住民の動向を見極め考えらる。

雀館公園の今後をどのように考えるか

斎藤 小学校建設により雀館公園の活用が大きく変わると思うが、町長は公園の今後をどのように考えるか。

町長 町民の憩いの場であり、スポーツ活動の拠点である。スポーツ・レクリエーション活動の拠点として、健康づくり生きがいづくりの出来る環境整備に努める。



さくらウォークでにぎわう雀館公園

小学校が雀館運動公園内に建設された場合、区域内滞在人口が増えるため、より安全安心な施設管理策を検討するとともに、学校活動での施設利用に対しても教育現場と協議し、一般利用との調整を図り施設運営に努めたいと考える。

その他に
○雀館公園の木の管理をどのように進める（テングス病対策はどうする）
○雀館公園内旧児童館の今後
○ふるさと納税の今後
を質問しました。

一般質問

教育行政の長期的展望は

教育長 小中連携教育の推進が教育方針の一つ



畑澤 洋子
(公明党)

畑澤 過去の行政評価で「まずい」と語られる事の中で、小学校建設問題が一番多い。新築まもない校舎が廃校になるなど今も根強く語られる。他町では「隣接型連携教育・9年間の義務教育」に舵を切っている。今後の方針は児童生徒数の予測を考慮した方針か。校舎が隣接型であれば連携教育の効果が大いではないか。雀館に建設した場合の効果的な最善策は、高崎―広ヶ野間を結ぶ



11年間利用した杉沢小中学校・寄宿舎・保育園

橋の新設で距離を近くする事にあるのではないか。

教育長

児童生徒数は少しずつ減少すると思われるが学級数に大きな変動はない。現在も小中学校は離れているが連携は行っている。なお一層推進していくため、教育委員会と小中学校で創意と工夫を重ねていく。

町長

橋の新設工事は多額の経費が伴うことから現段階では無理と判断している。

国土強靱化地域計画策定の早期着手で安全の対策を

畑澤

東日本大震災の教訓を機に施行された国土強靱化基本法は、強靱化に係る各種事業に、交付金・補助金などの支援を講じる。地域計画を策定した自治体が支援の対象となる。町では、いつごろの策

定を考えているか。

町長

町では災害対策基本法に基づく五城目町地域防災計画の適切な執行を優先していく。町民の安全・安心を十分に確保できると考えている。

農産物GAP認証の取得状況は

畑澤

東京オリンピック・パラリンピックを契機に、日本の農産物が世界へとお披露目される。食の安全性を示す農業生産工程管理（GAP）認証が不可欠だ。町での取得状況と生産者への推進方法は、

町長

GAP認証の取得者はいない。GAPのメリット、考え方、必要性を合意形成していく事が重要と考えている。生産履歴のわかる高品質な農産物に、町独自の認証を与えている。

ベンチの設置で住みよい町に

畑澤

会話の弾むベンチの設置で、町内のコミュニケーションを計ってはどうか。

町長

どのような取り組みがコミュニケーションを図るうえで効果的かを考え、住みよい町づくりを推進していく。

一般質問

町長の言う優良企業とは

町長 商工業全体の振興につながる企業



起業者が入居する地域活性化支援センター



石井 光雅

石井 大企業が来て、活性化になるかというところでもない。起業者誘致を含めて雇用の創出を図る。それと同時に優良企業の誘致とあるが、企業誘致対策は。

町長 優良企業とは、地域に雇用が創出され、本町の産業育成や商工業全体の振興につながる企業。

企業誘致や若者の起業などによって新規に立地する事業所について、平成33年度までの5年間で、5事業所とする目標を設定している。

人口減少対策は

石井 人口減少に対するいろいろな対策がソフト面で表われてきた。実際に目に見えてきたとはどういうことか。

町長 最近、首都圏からの若い世代の移住や起業などにより、町が活気づいてきている。このチャンス逃すことなく、各種施策を確実に実施するとともに、若い世代によるチャレンジを地域が一丸となって支えていく。

地区座談会の開催は

石井 今年度地区座談会を開催するそうだが、いつのような形で進めるのか。

町長 それぞれの地区において、行政全般に関する報告を行い、地区における課題などについて話し合うようなスタイルで実施する。

参集範囲・実施時期・日時

など、今後町内会長会と協議して決める。

職員採用高卒に門戸を

石井 高卒は即戦力にならないということ、28年度役場職員採用試験の募集がなかったが、高卒でも優秀な人はたくさんいる。門戸を開いてチャンスをあたえてはどうか。

町長 地元には高校がある以上、職員採用における高卒枠が必要であると判断し、今年度から高卒枠を復活する。

五城目高校からの応募に期待している。

他自治へのふるさと納税は

石井 町内の人で他自治体に納税している人は何人いるのか。

町長 平成27年分では寄附者12人、寄附金総額51万6千円、それに係る町民税控除額は26万5千円。

28年分では寄附者12人、寄附金総額52万円、町民税控除額は24万8千円である。

忙しすぎる先生 実態は

石井 小中学校の教諭は平均で1日11時間以上働き、過労死ラインとされる「残業が月80時間」を超える例が、中学校で6割、小学校で3割に及ぶ。本町の実態は。

教育長 小学校の教員は、毎日のように自宅に持ち帰って仕事をしたり、土日も学校で仕事をしている状況。中学校も日常の業務の他に部活動の指導により、時間外勤務が常態化している。

こうした現状を踏まえ、各校とも会議の効率化や学校行事の精選を図るなど勤務時間の適正化に努めている。

その他に

- 図書館の充実を
- 年末・年始の休みを国・県に準じないか
- 教育勅語を教材で使用すると思う
- いじめ・不登校本町の実態は

を質問しました。

一般質問

教育勅語を道徳で教えてはならない

教育長 資料として扱うことは考えていない



石川 交三
(日本共産党)

石川 政府関係者から教育勅語には今日でも通用する内容があるかのような発言がある。部分であっても「活用」するなどということはあつてはならない。伝えるべきは勅語が子どもたちを戦争へと駆り立てた歴史ではないか。

教育長 教育勅語に掲載されている徳目については道徳の資料として扱うことは考えていない。徳目に関する内容は学習指導要領に規定されており、教材は文科省作成の「私たちの道徳」や各学校が教育委員会に届け出ている副読本に取り上げられている。



檻で捕獲されたクマ

クマ被害防止策はなにか

町長 人的被害防止に努める

石川 クマによる人身被害が後を絶たない。町の被害防止策は。檻は足りているか。

町長 町広報やチラシ配布、広報車や鳥獣被害実施隊でのパトロールを実施し、被害防止に努めている。箱わなは実施隊所有3台、町貸与2台、

県貸与2台の計7台だ。1台設置に5人、設置後は毎日2人以上でのパトロールと餌やりが必要だ。

石川 仙北市で死亡した女性を2つ付けていた。新潟県妙高市で重傷を負った人もクマよけの鈴を持っていた。県立大学の先生は「鈴や笛は必ずしも効果がない」という。鹿角市の猟友会会長は「爆竹」が一番良いという。いったいどうすればいいのか。

町長 複数で行動し、爆竹や笛を鳴らす、ラジオを携帯し周りに音を出しながら行動する対策が必要だ。

石川 猟友会の実態はどうか。

町長 東江猟友会五城目支部と馬場目支部で20名、65歳以上が12名で現場出動できる会員は限られている。

石川 県内11市町村では猟銃

免許取得、銃所持許可手続きなどに補助している。鹿角市は銃・弾薬代を除き負担ゼロだ。わが町の対応は。

町長 鳥獣被害対策実施隊を組織し、免許更新時の講習免除や狩猟税を免税対象としている。また隊員を非常勤職員として報酬は年額四千円だが、今後、検討したい。

地方公務員法改正への対応は

石川 「会計年度任用職員」の仕組みが作られた。わが町はどうするか。なくてはならない存在があつてはならない。処遇になっていないか。

総務課長 現時点での対応策はない。正規職員同様の業務はないが、精査したい。

国民健康保険税の税率改正で低所得者層への負担増はすべきでない

石川 前回の改正で中間層の負担が大きかったことを踏まえ、今度は低所得者層の負担を増とするというが、社会保障の観点から見れば本末転倒だ。子どもの貧困が大問題となる中、子育て世代にとって「子育て支援」に逆行する

と受け止められるのではない。引き下げ・据え置きを選択肢はなかったか。

税務課長 低所得者層の負担増は社会保障の観点から子育て世代にとっては厳しい負担になる。痛みを伴うが税の公平と適正な課税に努めたい。

一般質問

町中心部に公衆電話設置を

町長 新たな設置は困難と認識するが
必要性の調査次第では措置を講ずる



公衆電話設置が望まれる町中心部



荒川 滋

荒川 昨年、五城館とスーパ
ーから公衆電話が撤去され、
町の中心部であるバスターミ
ナル周辺に一台もなくなっ
てしまった。
高齢化が進む町では携帯電
話を所持していない方が多い。
500m四方に一台という基
準もあるが、設置すべきだ。

小学校建設スケジュールは

荒川 公園土地用
途変更に伴う、都
市計画審議会開催
などにより、建設
スケジュールに遅
れは生じないか。
教育長 当初示し
たスケジュール案
に大きな変更が生
じないように事業
を進めていく。



当局より建設場所として示された雀館公園

町長 現在秋田県内では基準
以上の台数が設置されている。
第一種公衆電話の誘致・新設
は困難と認識している。
荒川 それが無理ならPテレ
ホン設置に向けての働きかけ
を。
※Pテレホン：施設内に管理者
などが設置する公衆電話
町長 バスターミナル周辺へ
の公衆電話設置については調
査が必要であり、その結果次
第では設置について必要な措
置を講ずる。
荒川 ひとが安心・元気を感
じられるよう検討をお願いす
る。

町内会集会所維持 費の一部助成を

荒川 平成28年度まで3年に
渡って実施の『元気な地域づ
くり支援事業』は各町内会に
とり大変ありがたい事業であ
った。人口減少の影響で各町
内会の運営は年々厳しくなっ
てきている。中でも水道光熱
費など会館維持費の負担割合
が大きくなっている。会館維
持費の一部助成はできないか。
町長 町内会が管理運営して
いる集会所は51施設ある。町
として施設のランニングコス
ト助成は考えていない。新た
な支援事業創設に向け検討し
ていく。

子供たちの 居場所づくりは

荒川 放課後児童クラブ『す
ずむしクラブ』は現在、国と
町の条例で定める基準『一つ
の支援単位の児童数概ね40人
以下』を大幅に超過するこ
とがある。町の現状と対応は。
教育長 今年度に入ってから
月平均で一日50人近くになっ
ている。利用人数の多い日は
支援員の他に代行も出勤し対
応に当たっている。利用者が
多い日は隣のプレイルームな
どの教室を活用する方向で検
討する。
荒川 平成18年以降一ヶ所も
ない児童館に代わる子供たち
の居場所づくりを。

町長 地区公民館、子育て支
援センター、わらしべ塾を開
催し子どもたちの活動支援と
保護者の子育て支援をおこな
っている。地域全体で子ども
たちを見守り安全安心に遊ぶ
ことのできる環境づくりに取
り組む。
荒川 新たに建設の小学校は
そのような役割も持ち合わせ
た施設になるよう十分に考慮
して設計に当たってほしい。

一般質問

五城目小建設場所を 「雀館公園内」とした明確な方針は

教育長 子どもと地域が共に響き合う 教育を目指す



椎名 志保



改築が待たれる小学校校舎

椎名 小坂小・中学校の視察を通し、学校と隣接した場所に学校教育・社会教育双方の事務方が置かれ、連携を持ちながら常に小中学校に目が配られていることを感じた。小学校を社会教育エリアである雀館公園内に建設するな

らば、それを機に町の教育事務を行う2つの部署が同じ場所に置かれ、行われる教育に対して常に目を配り、心を傾けていくべきではないか。

教育長 学校と隣接した場所に生涯学習課と学校教育課が置かれ、機能が一体化すれば理想的であると考ええる。離れていても連絡を密に取り合い、教育委員会として学

各行事の見直しは

椎名 毎年同じように行われている行事の改善を図り、より町民が参加しやすく、意味のある行事にしていくべきではないか。

職員の配置は的確か。

町長 「いじょうめ朝市Plus+」など新たな取り組みも行って

椎名 職員が効率よく対応できるよう勤務を調整したり、人員不足の場合はオール行政のスタンスで実施していく。

椎名 30回目を迎える「きやどっこまつり」は、実行委員の不足や夜半の交通整理員の確保に苦慮していると聞いて



多くの町民でにぎわう「きやどっこまつり」

校教育に支障のないように事務を遂行していく。

椎名 地域と連携し行われる教育の先には、町が目指す子ども像があるか。

教育長 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成し、自らの生涯を生き抜く力を培っていく。未来を担う子どもたちのために、子どもと地域が共に響き合う教育を目指す。

いる。行い方を見直すべきではないか。

町長 30回を節目に今後のあり方について実行委員と協議を重ねる必要があり、多くの方々の意見も参考にしたい。

豪雨被害の 防止策を早急に

椎名 平成25年8月の豪雨で、田町杉ヶ崎地区の一部住宅に床上浸水の被害があった。現在、氾濫した水路は脇に土のうを積むという対策にとどまっている。より強固な防止策を講じるべきではないか。

町長 関係者宅前の横断暗きよの通水作業が必要であると確認している。測量などを実施しているが、土地への立ち入りを拒否されているので、そのことを含め早急に対処していく。

その他に

○役場における女性管理職の積極的な登用についてを質問しました。

あなたにかわって
聞きました

一般質問

小学校改築に合わせ 図書館の設置、住民開放を

教育長 様々な効果が想定され先進的な事例を参考に検討していく



佐藤 慶彦



利用者の少ない町民センター2階図書室

佐藤 住民が望む必要な公共施設のアンケートを取ると全国的に図書館が上位にくる。姉妹都市千代田区の昌平小学校は一階が図書館となっており地域住民が気軽に立ち寄れる施設となっている。改築に

合わせ利用できる図書館(室)にすぎない。

教育長 学校図書室は、近年子どもの居場所づくりや地域住民への開放など新たなニーズが生まれている。

読書を通じて異なる年齢の子ども同士や地域の大人との交流を促進でき、子どもの読書活動を充実させる上での効果も期待できる。先進的な事例を参考に検討していく。

小学校改築に伴うスクールバスの運行見直しは

教育長 雀館運動公園内に小学校が建設された場合は中学校周辺の町内(希望ヶ丘・広ヶ野・新里町)が新たにスクールバス通学の範囲となり、高崎地区の町内が徒歩通学になると想定される。

佐藤 改築まで時間があり、慎重に検討を。中学校周辺の町内からの通学は坂と雪で冬場は危険であり現状のスクールバス運行も柔軟に対応すべきだ。

町内企業支援を充実させ雇用の拡充、また時代にあった支援を

佐藤 町長の選挙公約に企業誘致とあったが、前提として町内既存企業や事業者の振興が大切である。町内企業支援を充実させ雇用につなげるべきだ。

町長 地元企業の新規雇用に対する支援と新たに創設した農林業事業者に対する支援で、昨年度は11人の雇用(宮盛5

人、秋田ホーセ3人、ホンダヤマシナー1人、佐藤林業1人、アグリ1人)が創出され、事業者には総額で200万円の支援を行った。

佐藤 資金の補助だけでなく、経営ノウハウやホームページ、SNSなどIT面での、時代にあった支援が必要だ。

外部指導員制度の活用を

佐藤 今年4月から学校教育法が改正され中学校部活動の外部指導員が大会への引率が出来、職務を明確にすることで報酬が払えるようになったが、検討状況は。報酬を払うことで、長期で指導でき、部活動強化につながる。また教職員の負担軽減にもなる。

教育長 現在14名の外部指導者にボランティアで部活動の指導に当たってもらっている。部活動の指導体制が整備され、運営や指導が適切に行われるように検討していく。

公共施設利用料金の適正化を

町長 施設規模や利用度合、維持管理費用や残存耐用年数などの客観的な分析と地域住民の愛着度などの主観的な分析の2つの結果のバランスを計りながら、利用料金の適正性を検証したい。また施設別の行政コスト計算書と「利用者1人当たりコスト」「受益者負担」なども分析項目に加え、多角的に利用料金の検証を行う。

あれ

なんとになったべが!

平成28年6月定例会一般質問より

問

国保税の値上げを町民は厳しく受け止めているが、その対応は。

答 納税相談の周知を徹底する。

現在 昨年の納付書を発送した時に「お早めに納税相談を」の通知を同封した。

その結果、多くの方々から納税相談があり、状況に応じて分割

納付や減免手続きの対応をした。継続して納税相談の周知を図っていく。

問

地方版ハローワークの設置で、住民サービスの向上を。

答 業務内容・財政支援などを精査し検討する。

現在 平成29年3月31日時点で、全国134自治体が協定を締結。東北では各県の6県と大館市、北上市（岩手県）、山形市、天

童市（山形県）の4市が協定を締結している。

事務の専門性が高く、職員の研修や人事交流が必要とされていることから財政支援と併せて他市町村の動向を伺いながら引き続き検討する。

問

少子化対策として具体的な施策を。

答 「子供・子育て支援事業計画」に基づいて行う。

「出会い・子育て情報サイト」として開設している。

現在 少子化対策として、出会いから子育てまでのライフステージに応じた17の具体的な子育てなどの支援事業を実施しており、支援内容をパッケージ化したホームページを制作し

て、出会いから子育てまでのライフステージに応じた17の具体的な子育てなどの支援事業を実施しており、支援内容をパッケージ化したホームページを制作し



出会い・子育て情報サイトARUCO

議会議員全員協議会

平成29年5月19日

協議案件

- 五城目小学校改築事業について
- 五城目町国民健康保険の税率改正（案）について
- 特定教育・保育施設の利用者負担額の改定について

（佐藤 慶彦）

（佐々木仁茂）

陳情と意見書

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

採択

◆教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合のための、2018年度政府予算に係る意見書
採択の陳情

秋田県教職員組合
執行委員長 櫻田 憂子
秋田県教職員組合男鹿南秋支部
支部長 細川 愛

意見書

子どもたちの教育環境改善のために計画的な教職員定数改善の推進と、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元することを求める。

提出先 衆議院議長 大島 理森
参議院議長 伊達 忠一
内閣総理大臣 安倍 晋三
文部科学大臣 松野 博一
財務大臣 麻生 太郎
総務大臣 高市 早苗

採択

◆日本政府が核兵器禁止条約の交渉会議に参加し禁止条約の実現に努力することを求める意見書についての陳情

原水爆禁止秋田県協議会
事務局長 渡部 雅子

意見書

日本は、核兵器禁止条約の交渉会議に参加を表明したが、唯一の戦争被爆国の政府として、後半会議と国連総会に参加し、法的拘束力のある核兵器禁止・廃絶の実現に尽力することを多くの国とNGOは願っている。

このことから、日本政府が会議に参加し、核兵器禁止条約の実現に努力されることを求める。

提出先 内閣総理大臣 安倍 晋三
外務大臣 岸田 文雄
衆議院議長 大島 理森
参議院議長 伊達 忠一

不採択

◆3月定例会で継続審査となった雀館町内会からの五城目小学校建設を雀館公園第3駐車場に要望する陳情

雀館町内会
会長 永井 正則

不採択

◆五城目小学校建設を五城目第一中学校敷地内等に建設を求める要望書

日夜、町政発展と町民の生活と福祉の向上のためご尽力されておられますことに心から敬意

と感謝を申し上げます。

さて、時代の移ろいと共に児童数も減少し、老朽化による小学校を建設されようとしております。井川町では県内初の義務教育学校が平成30年度にスタートすると報道されております。五城目町の児童・生徒はかけがえない町の宝です。

お互いが離れた学校に通学するよりも、小中連携の観点からも五城目第一中学校敷地内等に建設することで児童・生徒への目配り、気配りの道徳教育の場ともなると思いますし、スクールの運行もスムーズで町の財政負担の軽減、親の心配、負担も軽減されるものと思われま

す。
リトルタウン的な考え方で是非中学校敷地内等に小学校を建設するように要望致します。

富津内地区町内会長 会長 小玉 俊雄
北々口町内会長
下山内町内会長 大石 壽信
上山内町内会長 大石 日出夫
富田町内会長 椎名 耕一郎
八田長面町内会長 小玉 多智美
台御蔵下町内会長 伊藤 和義
脇乙町内会長 伊藤 俊悦
落合町内会長 伊藤 敏美
高千町内会長 小玉 勝雄

(石井 光雅)

議員研修報告

町課題解決に向けて

◆議会議員視察研修

研修期間 平成29年5月12日

研修先

小坂町交流センター・セパーム・小坂小・中学校

研修内容

「隣接型小中一貫教育校の成果と課題について」「学校支援地域本部事業について」

◆小学校建設候補地 現地視察

○雀館運動公園内

○五城目第一中学校敷地内

参加議員 全議員

これからの町村議会を考える

研修名

町村議会議長・副議長研修会

研修期間

平成29年5月31日

研修先

東京都中野区 中野サンプラザホール

参加議員

小林正志・佐藤重信

研修内容

○大震災における自治体と議会の使命

○議会の活性化、政策形成マネジメントサイクルと議員のなり手不足の検証、身の丈にあった活性化から一歩一歩前進する議会へ

○京都府精華町での議会活性化の取り組みと期待される議会のあり方

研修先

井川町環境改善センター・井川中学校

研修内容

「義務教育学校について」

(佐藤 慶彦)



交流センターと一体となっている小坂小中学校

がんばってます

『独身男女の縁結び』

五城目町 花咲かせ隊



代表 小玉 輝雄さん (町村)
(前列中央)

◆どのような会ですか。

小玉 独身男女の縁結び役として、結婚支援をサポートするボランティアです。

◆どんな活動をしていますか。

小玉 結婚についてのお世話やアドバイスをしたり、お見合い相手の紹介。若者交流イベントに参加し、出会いのきっかけ作りをしています。

◆大変なことは。

小玉 親御さんから頼まれて出合いの席を設けましたが、本人にその気がなく、せっかくの機会が流れてしまったことがありました。親子の会話

が足りないことを痛感しました。

◆良かったことは。

小玉 昨年2組の結婚が実現しました。その手助けが出来て本当に良かったです。

◆今後の活動は。

小玉 隊員のスキルをもっと上げて、多様なニーズに対応したマッチングの仕方を進めていきたいです。

私たちは扉を開く役目です。まずは勇気を出して、いろいろな人と出会ってほしいです。

問い合わせ先…まちづくり課
TEL018-8521-5342

(椎名 志保)

楽しんでます

『自分は牛若丸だ』



五城目小学校 5年
佐々木 奈菜子さん
(中高崎)

私が番楽を始めたきっかけは、3年生のとき学校で行われた番楽教室です。

週に一度の練習ですが、番楽の歴史を知っていくと共に「やってみると楽しい」という思いが芽生え、このまま続けてもっと番楽のことを知りたいと思いました。

教室には同学年の川村さんと一緒に先生方や先輩たちの見よう見まねで

やってきました。そして、練習を積み重ねていくうちに、手のひねり方や足の使い方のコツをつかみ、自然に楽しく思えるようになりました。

そして、ついにお祭りの日。私は舞台上立つ前にこう思いました。

「自分は牛若丸だ！」
なぎなたをかわす軽快な動き。それが牛若丸です。すごく緊張したけど、最大の見せ場を成功した達成感があり、五百年前とつながった気がしました。

その後もイベントなどでうまくいき、二度目の祭でも完璧に演じました。

この伝統を多くの人に知ってもらい、これからも五城目町の宝として大切に引き継いでいきたいと思っています。

(荒川 滋)

編集

後記



6月は低温続きで、稲苗の生育が例年より遅れ気味となった。ようやく気温が平年並みに回復し、稲田の色も変化が見られ、農家の方々は安心しておられるのではないかと。

6月定例会後半に国会では、「共謀罪」法が可決、成立。

多くの国民は、監視社会を懸念し、「もっと十分な説明をすべき」との世論調査結果もでている。施行後に関心を寄せていきたい。

老朽化が進み「1日も早く建設を」と誰もが願っている五城目小学校建設関連予算案が可決した。全会一致とはならなかったが、教育環境整備と次代を担う子どもたちへの思いは議会の総意である。

今後は、小学校建設の情報公開を徹底し、町民の皆様へ逐一納得していただけるよう、議会広報の紙面でも小学校建設の関連記事を取り上げていきたい。

佐々木仁茂